

フランス国際原子力支援機構
AFNI: Agence France Nucleaire International

1. 設立の目的

- ・ 原子力エネルギーを持っていない国の原子力エネルギー導入を支援するため、フランスの関係機関の能力を集結する。

2. 設 立

- ・ 2008年5月7日

3. 組 織

- ・ フランス原子力庁 (CEA) の中に設置 (CEA 所属ではない)。
- ・ 機構長は CEA が提案し、省令により指名される。
(フィリップ・パリエ氏が6月初めに任命された。)
- ・ 政府の方針に基づき、支援実施についての具体的内容は運営委員会が決定する。
- ・ 運営委員会には、原子力関係部門がすべて関わっている (外務省、エコロジー・エネルギー・持続可能開発・国土整備省 (MEEDDAT)、IRSN、ANDRA、ASN)。
- ・ 運営委員会の長は、MEEDDATの気候・エネルギー総局長 (DAEC) (シュベ氏)。 パリエ機構長も運営委員会メンバー。
- ・ 運営委員会は、毎月1回会合する。
- ・ AFNI の常設組織は機構長はじめ数名で構成される。パリ所在。

4. 活 動

- ・ 原子力エネルギーに必要なあらゆる活動に対してフランスの公的機関の支援提供。
- ・ この支援は原子力エネルギーをまだ持たない国に提供される。
- ・ フランスから外国への支援である。このため、まず政府間協定が必要である。
- ・ この支援は、契約に基づき、決められたプロジェクトチームにより実施される。

5. 体 制

- ・ それぞれ国ごとにプロジェクトマネジャー
- ・ プロジェクトマネジャーを常駐組織が支援
- ・ AFNI は、支援を行うフランスの原子力機関の原子力関係の活動を調整、組織する

6. 支援内容

- ・ 国際条約に関する研究と支援
- ・ 原子力計画の規制、法的枠組みの提供
- ・ 原子力規制機関の設置支援の提供
- ・ 危機管理システム支援の提供

- ・ 原子力エネルギーの安全利用支援の提供
- ・ 核物質のサイト、輸送のセキュリティ支援の提供
- ・ 運転員を選び管理するセキュリティシステム設計
- ・ 原子力エネルギー利用の技術経済性研究
- ・ 立地研究
- ・ パブリックアクセプタンス支援
- ・ 原子力計画管理のための人材同定
- ・ プロジェクトに必要な人材教育と訓練 など

7. 手 順

- ① 相手国政府からフランス政府への支援要請
- ② 相手国とフランス大統領／首相／担当大臣が関連内容の協定を締結（政府決定）
- ③ 協定に基づき AFNI が参画
- ④ 相手国とAFNIとの間で委託契約
- ⑤ AFNI から相手国に派遣するプロジェクトマネジャーが AFNI と連携して、フランス本国から、相手国の要請に相応しい専門家をよび、必要な支援を行う。
- ⑥ 相手国の要請に基づきフランスから派遣される産業界の専門家は、相手国と個人契約を結ぶ。
- ⑦ 支援の時期は、プレFSまたはFS段階。安全、セキュリティ、核不拡散を目指す。
（商業化段階には関与しない。）

8. 支援相手国

- ・ 大統領／首相／担当大臣による政府間協定を前提とする。現在は4ヶ国対象。（ほかに、モロッコなども対象国にあげられている模様。）
 - 先週 アルジェリアと首相が協定
 - 5月30日 ヨルダンとクシュネル外相が協定
 - 今年1月 アラブ首長国連邦と首相が協定
 - 昨年12月 リビアと大統領が協定

（フィリップ・パリエ機構長（MrPhilippe PALLIER、57歳）の略歴）

- ・ サン・ゴバン（Saint-Gobain）の子会社で情報処理システムの責任者
 - ・ CISI（情報処理サービス国際会社）グループ アトランティック地域本部長
 - ・ CISI グループの産業部門長
 - ・ 1998年
フランス原子力庁（CEA）購買本部長、情報処理システム本部長を歴任
 - ・ 2008年6月5日
フランス国際原子力支援機構長就任（国務大臣、エコロジー・エネルギー・持続可能開発・国土整備大臣、ならびに外務・ヨーロッパ問題大臣による共同の省令により任命される）
- 以上